

10月のできごと

市内初の小規模保育事業所が誕生

市立南小規模保育事業所開所式
10月1日 南幼稚園

市内で初めての公立小規模保育事業所「みなみっこ」が南幼稚園内に開所しました。「みなみっこ」は1〜2歳児を対象とした定員11人の保育施設で、公立幼稚園の施設を活用した開設は全国初の取り組みです。夏休み中に改修工事を行い、新たに調理室などが設置されました。

開所式では小長井市長から児童へ文具品が贈呈され、この後行われた入所式では南幼稚園の年長児が歌を披露し、みなみっこの児童も一緒に口ずさんでいました。



▲幼稚園児が歌の披露
◀小長井市長から文具品の贈呈

全国各地から多種多様な凧が集結

日本の凧の会 全国富士川大会
10月8日 富士川緑地

この大会は、全国で年に一度開催されており、今大会は富士川緑地を会場に行われました。会場には、「日本の凧の会」会員約200人が全国各地から集まり、凧の見た目や揚がり方などを競いました。会員は「走らなくてもうまく凧に乗せれば揚がる凧や、揚げると音が鳴る喧嘩凧、100枚以上連なる連凧など、それぞれ特徴があります。凧には、つくる楽しさ、揚げる楽しさがあります」と凧の魅力を話しながら、持ち寄った自慢の凧を揚げていました。



▲個性豊かな凧が大空を舞う
◀富士山にちなんだ絵柄の凧が集結

舞姫が幻想的に踊り歩く

飛翔・富士の山 赫夜の舞 丁酉
10月9日 竹採公園ほか

竹採公園から滝川神社を経て、永明寺までの約500メートルを、舞姫19人が舞を奉納しながら踊り歩きました。舞姫の中には、地元企業に勤めるベトナム人研修生6人も参加し、地元伝統芸能を体験。3回目となることしも、地元住民が主体となって企画・運営を行い、道を照らす和紙製の灯籠も手づくりで制作されました。かがり火と灯籠の明かりに包まれた舞姫は、静寂の中に響く鈴の音を頼りに、幻想的な舞を披露しました。



▲舞の奉納
◀灯りを手に厳かに踊り歩く